



野長瀬会長インタビュー

産学連携を後押しし 基盤を固める

首都圏産業活性化協会(TAMA協会)は、2024年度を初年度とする3力年の第7期中期計画の実施期間に入り、イノベーションプロデューサー事業や広域連携などを進めています。中小企業を取り巻く環境は、為替や株式市場の変動、物価高、資源・エネルギー価格の高止まりなどを背景にさらに厳しさが増えています。25年にTAMA協会はどのような活動を推進していくのかについて、野長瀬裕二会長に話を聞きました。



生成AIの普及・拡大 が電力需給に影響

——25年の中小企業を取り巻く経済環境について、どのようにお考えですか。

国内に関しては、株式相場や為替などの市場変動によるショックが大きいと考えます。さらに、製造業を中心として、一度海外に出て行った企業が戻ってこないという構造的な問題もあります。

今後は、生成AIなどが進化・普及していくと、国内の電力需要がさらに増え、この需要増にどう対応するかという課題もあります。再生可能エネルギーだけでは電力需要が賸えないという問題も出てくるでしょう。

世界に目を向けると、輸出企業には大手が多く、すでにグローバル化が進み、サプライチェーンも多様化し、リスク分散が進んでいます。その一方で、中小企業は依然として厳しい状況に置かれています。特にサプライチェーンが中国に依存している企業は、価格競争が厳しくなることも予想されます。

EV(電気自動車)については、ヨーロッパやアメリカもかなり中国を警戒していますね。こうした状況を考えると、中国は近年人件費が上昇し、円安など為替の影響もあることから、逆にものづくりでは国内回帰のチャンスかも知れません。

したがって25年は国内回帰が日本にとって重要な年になるでしょう。

——不確実性が高い経営環境下で、企業はどのように成長路線を描けば良いでしょうか。

先に述べたような経営環境下にあっても、積極的に成長を目指す企業も製造業

で増えてきています。やはり中小企業も政策的なサポートをただ受け身で待つだけでなく、自ら率先して動くことが重要だと感じます。

成長する企業には「周りを大事にする」という共通点があると私は思います。顧客や取引先との長期的な関係を築くことが大切だと考えます。

近年は「義理人情」といったような日本的経営の良さが薄れ、昔と比べて企業同士の関係がドライになってきている印象があります。しかし、こうした日本的経営の良さが薄れてきた現代だからこそ、経営環境の変化に柔軟に対応しつつも、過去のつながりも大切にしていきたいことが、ひいては企業の長期的な成長につながるのではないのでしょうか。

会員企業の 新規開拓をサポート

——こうした中でTAMA協会の強みや、今後求められる役割についてはどう考えていますか。

例えば中小企業にとっては、中国市場に直接参入するのはなかなか難しいことです。グローバル化への対応では、中国に限らず、世界中の良い企業とどれだけ取引関係を築けるかが大切となります。当協会としても、会員企業の新規取引先の開拓などをサポートし、取引先を増やす機会を提供していきたいと考えています。

そうした中では、やはり中小企業も今後、グローバルな視点や情勢を見据えた柔軟な対応が欠かせなくなるのではないのでしょうか。日々刻々と変化する世界情勢を背景に、どのように自社の強みを発揮し、変化に対応できるかが企業の存続その

ものに関わってくると思います。

——昨年から山梨・群馬などの広域地域での取り組みが進んでいます。今後、広域展開をさらに進める方針なのでしょうか。

当協会の会員獲得や活動において、地域的な広がりを持たせることは必要ですが、まずは現在の基盤をしっかりと固め、地道に取り組んでいきたいと考えています。25年度には、特にコーディネーターのネットワーク強化や有志の人材活用の仕組みの構築などに力を入れたいと思います。そうした取り組みを進めることによって、会員企業と大学などをつなぐ役割を強化していく方針です。

したがって、当協会が産学連携の窓口として、調整ができる人材を今後、育成していく必要があると考えています。そのためには、産学双方のニーズをしっかりと把握していくことが重要です。大学との連携や理事会での取り組みも大切にしています。

地域力の向上を メインテーマに

——25年以降の取り組みについて、具体的に教えていただけますか。

大きなキャッチフレーズとしては、「地域力の向上」を掲げています。活動のベースは埼玉・東京・神奈川としつつ、当協会が頼られる存在になるということが第一だと考えます。

先ほども話に出たように、昨年から広域的な展開にも乗り出しており、特に山梨・群馬などで活動を拡大しているところです。ただ、繰り返しになりますが、やはり当協会の基盤をしっかりと固めることが先

決だと考えています。足元を見つつ、無理なく着実に活動を広げていくつもりです。

25年度は、会員企業と大学をつなぐ役割を強化していく予定です。当協会としても、産学連携を一層拡充し、コーディネーターのネットワークもさらに広げていきたいと考えています。当協会が産学連携の窓口として機能し、調整役として適任な人材を育成していく必要があると感じています。

さらには産学連携に加え、当協会の理事会とも連携し、しっかりと情報を管理・共有していきたいと考えています。



【略歴】
のながせ・ゆうじ

東京大学農学部農業工学科(現、生物・環境工学専修)卒業。早稲田大学大学院理工学研究科工業経営学専攻(現、経営デザイン専攻)修了。早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際経営学専攻(現、商学研究科)修了、博士(学術)。製造業の生産技術・生産管理・事業管理・事業企画等の実務を経て、リストラを機に大学に転ずる。IE、設計VE、子会社経営管理、原価企画、商品企画、新事業企画等の実務経験が研究の基礎。地域ベンチャー企業のビジネスモデル研究、経営システム研究、地域イノベーション研究に注力している。

芳賀事務局長インタビュー

野心的経営者に
事業機会やリソース提供

首都圏産業活性化協会(TAMA協会)は、将来構想のキャッチフレーズを「首都圏の地域力を向上」としています。芳賀啓一理事・事務局長に、第7期中期計画の方向性や2025年の重点施策などについて聞きました。



——イノベーションの創出支援の状況と課題について教えてください。

協会ではLayer1「交流」、Layer2「連携」、Layer3「創造」という3つの層に分け、イノベーションの創出支援を行っていますが、交流からどうやって連携に進むのか、さらには連携からいかに創造へ到達するのかが課題です。

このメカニズムを可視化すべく、私どもでは日々座学の研修を取り入れたり、座学を実践に取り入れる試みをしています。その一環として、経営デザインシートというフレームワークを会員企業に活用してもらったといった活動をしています。

——協会は中小企業庁「令和5・6年度 中小企業のイノベーション創出を支援するイノベーション・プロデューサー」受託事業の採択を受けました。

令和5年度のイノベーション・プロデューサー事業については、24年3月に一区切りを迎えました。令和6年度事業につきましては、1月10日に成果報告会を行う予定です。(3P参照)

当協会が支援する企業の規模感としては、売上高数億円の会社を10億円にする、10億円の会社を30億円にするといったものです。もう少し高く目標を定めるとしたら、売上高100億円を目指すような企業を

この地域から輩出していくということになるでしょう。

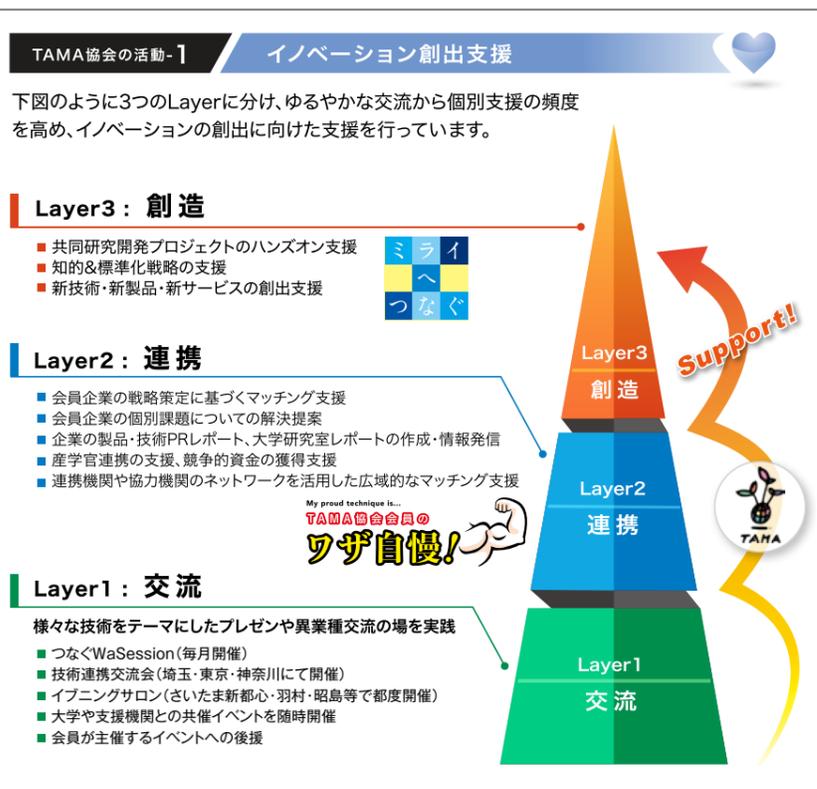
イノベーション・プロデューサー事業では、売上高5億円規模のユニットをいくつか立ち上げ、さらに5億を10億円に引き上げるといったスキームを掲げています。協会もまさにそういった形で、会員企業と一緒に成長・発展していくことを目指していきたいと思っています。

——販路開拓や売り上げ拡大につながる支援を期待する会員企業の声もあります。

私どもが目指すべきところは、単純な御用聞きになるのではなく、第三者の視点で会員企業の痒いところに手が届くような情報や支援策を提供することです。中小企業の皆様は総じて忙しく、納期に合わせて目の前の納品物を仕上げ、お客様の満足を得るのに必死だと思えます。そこで、協会としては、会員企業の手が回らないような情報収集やマーケティング施策などについて、さらに踏み込んだ提案ができないかと模索しているところです。

——25年に力を入れていきたいことは。

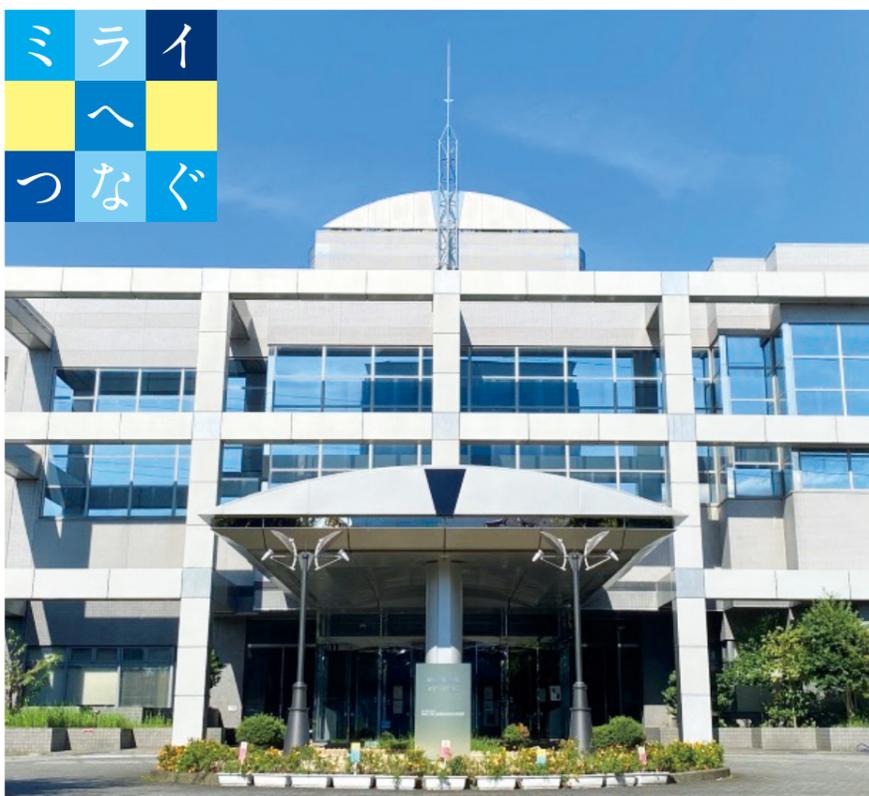
26年までの第7期中期計画において、「野心的な経営者に事業機会やリソースを提供する」というビジョンを掲げています。野心的とは現状維持にとどまらないという



意味です。また、地域で社会貢献を志す人へ活動機会を提供することも方針の一つです。

協会のビジネスモデルでは、自主事業の収益化も課題です。首都圏の地域力を向上するためにも、資金は重要だと考えます。収益力を上げていければ、会員に還元することもできるからです。

直近の活動として、昨年4月に相模原サテライトオフィスを開設しました。また、山梨・群馬における地域連携も強化しています。今後は、ものづくり企業約1700社の情報を1社1枚ずつにまとめたPRレポートを用いて、マッチングの仕組み化にも、引き続き取り組んでいきたいと考えています。



今回のマッチング会場となった、(地独)神奈川県立産業技術総合研究所海老名本部

TAMA技術連携交流会 @KISTEC

TAMA協会では2024年12月3日に、「TAMA技術連携交流会@KISTEC」を神奈川県立産業技術総合研究所海老名本部(KISTEC海老名)で、公益財団法人神奈川県産業振興センター(KIP)、KISTECの協力を得て開催した。

マッチング数は13件

このイベントは大手企業の課題を中小企業の技術力で解決するというテーマで実施し、クローズ形式で開催するマッチング会だった。今回は2社の大手企業から7つのニーズを集め、マッチング数は13件だった。

参加した中小企業はユニテックス(町田)、テクニカ(瑞穂)、バルキー・インフォテック(新宿)、Life Analytics(横浜)、アドバンスソフト(千代田区)、三友機械製作所(静岡)、泉工業(綾

瀬)、久保井塗装(川越)、アセイ工業(厚木)、アルトリスト(調布)、サーフテクノロジー(相模原)の計11社。

各企業とも、課題解決について詳しく説明を行った。一方の大手企業側の担当技術者も興味深く耳を傾け、技術的な意見交換も行い、双方にとって有意義なマッチングが行われた。TAMA協会は今後も、同様の取り組みを継続して行っていく。

また、25年1月10日には「TAMA技術連携交流会@八王子」を、東京たま未来メッセで開催する。会員企業の製品・技術、PRレポートをポスター展示するオープンイベントも行う。同イベントの開催報告は、次号で詳しく紹介する予定だ。

実施報告

Layer1:交流

第3回TAMA協会ゴルフコンペ&望年会

TAMA協会は11月19日、GMG八王子ゴルフ場(八王子市)で、参加者10組(総勢40名)と過去最大の人数でゴルフコンペを行いました。天候にも恵まれ、絶好のゴルフ日和の中、好プレー・珍プレーもあり大変盛り上がりしました。

夜は八王子駅前に移動しての望年会(ぼうねんかい)も開催され、こちらも大いに盛り上がりしました。TAMA協会では今後このような企業の出会いの場、交流の場を企画・運営していきます。



内定者合同フォロー研修

TAMA協会は毎年好評を得ている内定者合同フォロー研修(全6回)を10月から開催しています。詳細については今後、特集を組んでお伝えさせていただきます。

第50回つなぐWaSession「イノベーション人材の育成」

TAMA協会は11月22日、株式会社エキサイター(中央区日本橋)のオープンスペースをお借りして、第50回つなぐWa Sessionを開催しました。当日は有限会社ルーマス 代表取締役の三井豊久氏をゲストに迎え、「イノベーション人材の育成」をテーマに特別セミナーとワークショップを開催し、参加者は刺激を受けながら自身に置き換え考察し、意見交換しました。終了後はゲストを交えての懇親会で大いに盛り上がりしました。

TAMA技術連携交流会@KISTEC
「大企業の課題を中小企業のワザで解決!」

TAMA協会は12月3日、神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)海老名本部で「TAMA技術連携交流会@KISTEC」を開催しました(詳細は2面ご参照)。

第8回つなぐWaSession・Global(JR東海共催)

TAMA協会は12月23日、FUN+TECH LABO(相模原市橋本)で、株式会社ユニテックスの小杉恵美社長をゲストスピーカーにお迎えして「テープストレージが、地球の未来を救う!」をテーマに「つなぐWa Session・Global」を、JR東海と共催しました。世界38カ国に製品を展開している中で、「グローバル戦略および人材採用・育成について」分かりやすい解説をいただきました。

展示会・見本市等への出展

TAMA協会では、首都圏の製品・技術および魅力の発信を目的に、会員企業の紹介を行っています。今後もみなさまのご意見を反映し、魅力発信の強化を行っていきます。

名称:たま未来連携EXPO(東京都主催)

日時:2024年12月19日・20日 場所:東京たま未来メッセ(八王子)

出展企業:industria、バンガードシステムズ、セラテックエンジニアリング、リサシステム

トピックス

ユニテックスが「令和6年度東京都中小企業技能人材育成大賞
知事賞」優秀賞を受賞

東京都では、毎年極めて優れた技能を持ち、他の技能者の模範と認められる技能者や、技能者の育成と技能の継承について特に成果を上げた企業を表彰しています。令和6年度は、TAMA協会会員の株式会社ユニテックスが優秀賞を受賞しました。人材育成の概要は以下の通りです。

▽部門を超えた技術者同士のメンタリング活動の推進(視野拡大・スキル向上)

▽階層別に多様な教育研修プログラムを提供

▽女性社員を組織の幹部に登用し、女性のキャリアパスやリーダーシップの発展を積極的に促進。また、組織内にグローバルな視野を取り入れ、多様性を尊重

▽人事評価制度では、「行動評価」と「業績評価」を体系化(具体的な目標を上長と部下で共有し、総合的に評価)

MAZINが「令和6年度東京都ベンチャー技術大賞」特別賞を受賞

令和6年度東京都ベンチャー技術大賞において、TAMA協会会員の株式会社MAZINの開発する射出成形AIが特別賞を受賞しました。東京都ベンチャー技術大賞は、都内の中小企業がその技術力を活かして開発した、革新的で将来性のある製品・技術、サービスを表彰するものです。

射出成形AIとは、成形時の内圧変化を分析し、各ショットの成形品の品質を自動で判定し、条件を調整するAIシステム。従来の成形現場では、環境変化によって不良品が生産されるリスクがあり、技術者の介入が必要でした。同製品は、金型内のセンサデータを基準にしてAIが成形条件を計算。成形機に自動でフィードバックを行うことで、不良品の生産を抑制し、検査工程の効率化を実現します。

今後の予定

(予定は変更になる可能性があります。詳細はホームページをご確認ください)



Layer1:交流

TAMA技術連携交流会@八王子
(中小企業庁・日本台湾交流協会事業併設開催)

日時:2025年1月10日(金)13:00~16:30

場所:東京たま未来メッセ1階 展示ホールBC (東京都八王子市明神町3-19-2)

内容:

①会員企業による製品・技術展示、パネル展示

②中小企業庁 令和6年度 中小企業のイノベーション創出を支援する

「イノベーション・プロデューサー」事業 成果報告会

③TAMA・台湾核心戦略6産業個別商談会

(公益財団法人日本台湾交流協会 令和6年度日台産業協力架け橋プロジェクト助成事業)

首都圏産業活性化協会 令和7年 新春講演会・賀詞交歓会

日時:2025年1月10日(金)17:00~20:30

場所:東京たま未来メッセ1階 展示ホールCD (東京都八王子市明神町3-19-2)

【第一部 17:00~18:50】

●主催者あいさつ、来賓あいさつ

●新春講演会

テーマ 2025年の国際環境と経済の情勢~激動の世界経済における日本企業の取るべき戦略~

講師 愛知淑徳大学ビジネス学部研究科 真田 幸光 教授

●新入会員紹介

【第二部 懇親会 19:00~20:30(予定)】

立食形式(飲み放題)

参加費 会員7,000円 一般1万円

第15回自治体地域産業政策勉強会・令和6年度第2回産業振興セミナー

日時:2025年1月21日(火)14:00~16:00

場所:東京たま未来メッセ 3階 第2会議室 (八王子市明神町3-19-2)

テーマ:地域で取り組む事業承継支援のカタチ

~経営支援をベースとする事業承継支援体制づくり~

TAMA協会では中小企業の課題である事業承継の促進に向けて、そのベースとなる経営改善支援や支援機関との連携の重要性についても理解を深めるとともに、自治体間のネットワークを構築することで、地域の事業承継支援の仕組みづくりを進められるよう、関東経済産業局の協力を得ながら勉強会を開催しています。

〈展示会・見本市等への出展〉

彩の国ビジネスアリーナ2025

日時:2025年1月22日(水)・23日(木)

10:00~18:00

場所:さいたまスーパーアリーナ(スタジアムモード)

(さいたま市中央区新都心8番地)

テクニカルショウヨコハマ2025
(第46回工業技術見本市)

日時:2025年2月5日(水)~7日(金)

10:00~17:00

場所:パシフィコ横浜展示ホールA・B・C(横浜市西区みなとみらい1-1-1)

高瀬総合法律事務所

困ったとき
困ることが起きる前
企業の発展をさせたい時
ぜひご相談ください。

下請法・株主総会運営
IPO・M&A
特許・知的財産

KANAGAWA OFFICE
相模原市緑区橋本6-5-10 中屋第2ビル2-E
TEL 042-770-8611 FAX 042-770-8622

TOKYO OFFICE
東京都新宿区西新宿1-20-3 西新宿高木ビル8階
TEL 03-3344-6155 FAX 050-3588-6358

日総工産は製造現場の“人”を育てる。
エンジニア育成に特化したeラーニング研修サービス

Start engineer

製造系エンジニアの e ラーニング研修
設備保全、生産技術の合計420レッスン120時間程度分の研修が受け放題

日総工産株式会社
神奈川県横浜市港北区新横浜1-4-1
お問合せ先: 福田

✉: k-Fukuda@nisso.co.jp
TEL: 045-476-4819
URL: https://www.nisso.co.jp/



広げよう会員の輪 新規会員の紹介



新規会員との意見交換・面談を希望する方は、事務局へご連絡ください。

NEW

棚卸作業の時間を0に!

弊社では主に製造業/メーカー様のお客様を中心に、在庫管理業務をすべて自動化し、業務負担を軽減する「はかれるくん」を提供しております。

主な特徴として、備品類やネジのような小型～中型で重量が均一化された材料について、対象物を電子秤に載せるだけで在庫数をリアルタイムで計測・可視化し、直接在庫を数える必要がなくなり、PC上でいつでもどこでも在庫数量を確認できる製品となります。



株式会社Qeight (キューエイト)
東京都昭島市武蔵野2-1-48
TEL 070-8422-8309
URL <https://qeight.jp>



NEW

難民を守る。難民を支える。

UNHCR/国連難民高等弁務官事務所は1950年設立の国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を保護・支援しています。1990年代には緒方貞子さんが高等弁務官を務めていた事で日本でも広く知られています。ノーベル平和賞2度受賞。本部はスイス・ジュネーブ。援助活動は135カ国に及びます。この活動を支え、日本で広報・募金活動を行う民間の公式窓口が国連UNHCR協会です。



特定非営利活動法人 国連UNHCR協会
東京都港区南青山6-10-11
TEL 03-4366-7373
URL <https://www.japanforunhcr.org/>



NEW

個人会員

須藤 慎(すどう まこと) 中小企業診断士/プロダクトデザイン検定1級/知的財産管理技能士3級 **得意領域** デザイン活用(ブランド・WEB・プロダクト・グラフィック・動画等) 人材採用

会員募集中

TAMAネットワークから
新しい未来を創造しませんか?

Technology Advanced Metropolitan Area

■首都圏産業活性化協会(TAMA協会)は産学官金による会員組織です。研究会・交流会への参加、個別企業の支援など、会員間の交流促進と会員企業の支援を行っています。

■会員メリット

- 毎月1回以上開催される会員交流会のご案内 ※2022年度実績27回
- 企業や研究機関の探索、マッチングコーディネート
- 経産省・各省庁・地方自治体等の補助金をはじめとする最新情報のご提供
- 各種補助金・助成金申請の支援 ※認定経営革新等支援機関(第3号 ID:100313031220)
- カーボンニュートラル・DX等に取り組む身近な事例のご提供など

入会申込書はホームページからダウンロード可能です。

<https://www.tamaweb.or.jp/about/guidance>

申込書をご記入の上、EmailかFAXにてご送付ください。

一般社団法人 首都圏産業活性化協会(TAMA協会)

Tel:042-631-1140 Fax:042-631-1124 E-mail info@tamaweb.or.jp URL <https://www.tamaweb.or.jp>

東京農工大学 × シュタインバイス大学合同研修

—多様性時代のグローバルリーダーシップ実践教育—

事前研修 2/4(火)、5(水)、13(木)、14(金)、3/7(金) 9:00～18:00
事前研修は対面で行います。午前中に講義、午後に関連するワークを行い、理解を深めます。

本研修 3/10(月)～21(金)
第1週目をオンラインで、第2週目を対面で実施します。場所は東京農工大学小金井キャンパスにて行います。

事後研修 3/28(金) 13:00～18:00
グループワークでどのように議論を進めたか、チームの成果にどう貢献したかについて振り返り、共有します。

▶プログラム概要

ドイツ・シュタインバイス大学の大学院生とチームを組み、企業から出された課題についてグループワークを行います。グローバルなプロジェクトにおけるチームワークを模擬体験できる機会です。日独ビジネスや異文化間理解のための講義もあります。

【実施方法】 オンライン (Zoom) + 対面
【使用言語】 事前研修・本研修ともに全て英語
【金額】 60万円 (消費税別)
【募集人数】 6名
【問い合わせ先】 東京農工大学大学院・生物システム応用科学府 秋澤 淳・水内 郁夫 steinbeis-program@m2.tuat.ac.jp

編集後記 TAMA協会は神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)と連携し、2024年度から県内中小企業向けにAI活用の支援を始めました。こうしたAIの活用について、興味深い調査結果が米国の医学誌JAMAから出ています。調査によれば、ChatGPTの病名診断の正答率が90%だったのに対し、ChatGPTを補助として使用した医師の正答率は76%、未使用の医師は74%に留まりました。AIの能力が医師を超えていても、AIを使用した医師の成績が上らないのは、AIを効果的に活用できていない現状を示しています。今後、生成AIで競争力を高めるには、社員の人材育成が重要な鍵となるでしょう。(小川)

TAMA経済NEWS(つなぐWa)では広告協賛いただける企業を募集しています。詳細は事務局(info@tamaweb.or.jp)までお問い合わせください。
【サイズ】①横57mm×縦48mm、②横57mm×縦100mm、③横129mm×縦98mm、④横129mm×縦142mm(特別枠)の計4タイプがあります。